四国森林管理局 森林技術・支援センター

次世代につなげる森林づくり

NO.15

平成 27 年 6 月 4 日

◆新聞社から取材を受けました。

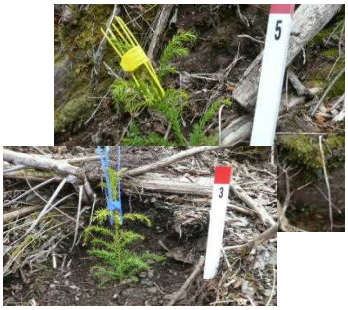
◆四月二十七日、時事通信社高知支局の木田記者から、四国局のシカ被害対策に係る取組について取材を受けました。

はじめに、当センターで開発した「小型囲いわな」の組立・稼働の実演を行いつつ、取組（捕獲試験及び普及活動、シカ被害防止クリップの試験等）等について説明を行いました。

木田記者からは、わなやクリップの特徴、技術開発成果の普及状況等について熱心な質問があり、取材時間は二時間余りにも及びました。

深刻なシカ被害が続く中、シカ被害軽減に繋がる対策に期待が大きいことを再認識し、当センターとして更に実効性のある成果の確保・普及に向け注力していきたいと考えています。

熱心に取材する木田記者(女性)



シカ食害防止クリップ

なお、今回の取材記事については、シカ食害防止のクリップ検証試験は五月二十日に、小型囲いわなについては五月二十七日に、官庁速報（官庁向け）として配信されています。

◆◆「シカ囲いわな」の巡視・捕獲を再開！ 四万十町・折合の県道・大規模崩壊が復旧！

◆三月三十日午後、四万十町南口から入った県道三二八号の崩壊が発生し、地区にお住まいの方が通行止めとなっていた大規模崩壊が復旧して、通行が再開されました。

3.30崩壊により通行止

5.1復旧により通行可

◆「シカ囲いわな」の巡視・捕獲を再開！

四万十町・折合の県道・大規模崩壊が復旧！

餌付けによるシカ集団(3月)

大型囲いわな(現在餌付中)

※左写真 ↑同場所↓

◆奥日本三大カルスト台地の一つ、四万十町折合地区の県道沿いに、シカ被害対策の視察を兼ねて、捕獲試験地の現状及び意見交換を行いました。

◆局長、技術開発試験地等の現地視察を行う！

◆五月二十六日、高知中部署の杉ノ熊山に植栽されたエリートツリー（植栽試験地）の視察を平成二十五年度に推進のお願いとして、低コスト造林推進のための取組として、シカ害対策の現状及び試験地等の視察を行いました。

◆当日は、森林局長以下、森林技術・支援センター所長、高知中部署の担当者、関係部署の職員、森林整備課長ほか、関係者が参加しました。

クリップの説明をする芹口業務係長

↑エリートツリー
植栽試験地の視察←

シカ囲いわなの視察